

製造技術者育成プログラム(応用) 受講者募集案内

「プレス成形加工の技術講座」

自動車部品をはじめ、さまざまな分野で利用されているプレス加工技術は、プレス素材の多様化、金型材料や表面処理の高度化などにより、日々進化しています。また、ITを利用した解析技術も進化しており、こうした技術をいかに自社の製造プロセスに取り込んでいくかは、企業の重要な課題であります。

本講座では、プレス成形における材料の変形メカニズムなど基礎的事項から、シミュレーション結果およびその実験検証の事例を解説します。理論だけでなく、実験、事例を交えた解説で体系的に学べます。

より実践的な講座が豊田市内で受講できる、またない機会ですので、お早めにお申し込みください。

対象者： プレス成形加工の実務経験を3～10年程度お持ちの方

定員： 30名

【講師】 東京農工大学 大学院工学研究院 先端機械システム部門 教授 工学博士 桑原利彦

【会場】 ものづくり創造拠点SENTAN 3階セミナールーム（豊田市拳母町2-1-1）TEL:0565-47-1240

【受講料】 1名 20,000円(豊田市内企業)

【申込み】 別紙申込書に記入の上、所属長の了解を得て、FAXでお申込み下さい。

【備考】 ① 豊田市外企業の方の受講料は、1名 40,000円となります。

② 募集は先着順ですが、応募多数の場合、豊田市内企業を優先させていただきます。

③ 1社あたりの定員を4名までとさせていただきます。

	日付	講座名	講座内容	時間
①	2/20(火)	プレス成形の基礎と初等理論 1. 絞り加工の解析 2. 曲げ加工の解析	材料の変形のメカニズムや、割れ、しわ、スプリングバックなどの不具合現象について、その発生原因を塑性力学的に考える方法を解説します。「いかにしてトライレス加工を行うか」という課題に対して、どのような理論に基づき、解析を行うのが有効なのか解説します。	10:00～ 15:00
②		材料の異方性	各種鋼板、アルミニウム合金板、純チタン板などの例をとりあげながら、金属薄板の異方性の特徴を解説します。また、異方性に起因するプレス加工時の不具合現象と対策についても解説します。	15:00～ 17:00
③	2/21(水)	異方性を考慮した材料モデリングとその評価	異方性を有する金属薄板の変形挙動を解析するための基礎理論を学習します。異方性材料における降伏条件式の代表格である、Hillの2次降伏条件式などを中心に、降伏条件式の理論の枠組みを解説します。さらにそれらの降伏条件式が実際の材料の塑性変形挙動をどれくらい精度よく再現できるか、二軸応力試験による測定値と比較して解説します。	10:00～ 12:00
④		有限要素シミュレーションによるプレス成形の解析事例	板材成形におけるひずみの発達、スプリングバック、割れなどについて、シミュレーション結果及びその実験検証の事例を紹介します。また、薄板や管材の成形限界の測定方法や評価方法についても説明します。	13:00～ 16:00

製造技術者育成講座(応用)「プレス成形加工の技術講座」

受講申込書

【申込み先】 FAX 0565-47-1242

「とよたイノベーションセンター」(ものづくり創造拠点SENTAN2階)

【申込期間】 平成30年1月9日(火)10:00~2月9日(金)

※募集は先着順ですが、応募多数の場合、豊田市内企業を優先させていただきます。

お問い合わせ

URL : <http://www.toyota-innov.aichi.jp/>

とよたイノベーションセンター

(ものづくり創造拠点SENTAN2階) 火曜日~金曜日

TEL:(0565)47-1240、FAX:(0565)47-1242

Email: ticinfo@toyota-innov.aichi.jp

豊田工業高等専門学校、豊田市、
豊田商工会議所の3者連携機関

※月曜日は休館日となります。ご注意ください。担当:池田、松崎

- | | | | |
|-------------------|-----------|-------------|-------------------|
| (1) 豊田工業高等専門学校 | 〒471-8525 | 豊田市栄生町2-1 | TEL:(0565)36-5975 |
| (2) 豊田市ものづくり産業振興課 | 〒471-0023 | 豊田市挙母町2-1-1 | TEL:(0565)47-1250 |
| (3) 豊田商工会議所 | 〒471-8506 | 豊田市小坂本町1-25 | TEL:(0565)32-4594 |

■ 派遣企業及び受講者 (受講者1名につき1枚記入願います。)

企業名					
所在地・ 請求書等 送付先		〒			
		* 請求書送付先が所在地以外の場合は下記に記載			
		TEL:		FAX:	
		E-mail:			
		1. 所属長宛 2. 受講者宛 3. 担当者宛(下記に詳細記載) *数字を○で囲んでください			
3を選んだ場合		担当者の部署			
		担当者の氏名			
所属長	役職・氏名	印			
	講座に期待すること				
受講者	ふりがな			年齢	
	氏名				歳
	所属	職種及び 経験年数		年	

(H29. 12. 19 T)